

A.O. 2015年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

私の地域創生学群生活は「地域に飛び込み、人とつながり、動いて学ぶ」この言葉に集約されます。机上で考えるだけでなく、実際のまちをフィールドにし、仲間や地域の方々と力を合わせながら、北九州市の魅力はどうすればもっと届けられるかを考え、走り続けた4年間でした。

特に力を入れていたのが、小倉エリアでの地域活性化プロジェクト（以下小倉実習と表記）です。夏祭りでの出店企画、地域の清掃ボランティア、全国各地のB-1グランプリへの出店協力、地域ラジオへの出演、そして小倉駅のデジタルサイネージ映像の制作など、活動は多岐にわたりました。単に「イベントをやる」だけではなく、企画立案から運営、当日の動線、地域の方への広報までを自分たちの手で行い、小倉実習のリーダーとして全体の調整役や後輩育成も担いました。

中でも印象に残っているのは、北九州市内の美容室と連携した「女子力UP講座」です。「こういうのやったら楽しそうじゃない？」この一言から始まった企画ですが、参加者をいかに集めるか、どんな内容なら地域の若い方に興味を持ってもらえるか、商店街の方々の思いと学生の視点をどう合わせるか——想定をはるかに超える大変さでした。何度も話し合いを重ね、悪戦苦闘しながら形にしたことで、イベントが“地域の誰かの役に立つ”喜びと達成感を実感できた素晴らしい経験でした。そんな様々な事に挑戦してきた結果として、新入生の入りたい実習希望として多く小倉実習の名があがるようになったのも私の大事な思い出です。

こうした経験から得たのは、「自ら動けば景色が変わる」という学びです。地域の課題も、人の思いも、境界の向こう側に自分から足を運ぶことで初めて見えてくるものがあります。失敗も多く、思うように動けないこともありましたが、その積み重ねが良い経験となり今の私の仕事観にもつながっています。私は、もう一度大学入学前に戻れたとしても、また地域創生学群を選ぶと思います。



小倉活性化PJ「女子力UP講座」記念すべき初回の1枚☆企画・集客・運営全て自分たちで手掛け、計7回開催！新聞にも掲載していただけた思い出のイベントでした。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

2015年に山口フィナンシャルグループ（以下、FGと記載）に入行（北九州銀行本店配属）し、当初は、預金・貸付・出納業務などをジョブローテーションで経験、銀行の基本を幅広く理解するところから始まりました。その後は窓口業務や資産運用業務を担当し、お客さま一人ひとりの暮らしに向き合う経験を重ねていきました。

2017年からの3年間は、北九州銀行本部配属となり、ライフプラン専担として北九州エリアを中心に、地区会議や勉強会を通して営業店の金融知識の普及に取り組みつつ、資産運用担当者への帯同支援も行いました。また、担当者不在の市外店舗では自ら営業を行い、ゼロから信頼関係を築く難しさと面白さを実感し「お客さまのためにも、もっと知識を習得しなければ」と思い、自身の学びを深めるため、FP1級を取得したことが大きな転機となりました。

2022年から営業戦略部（FG本部）に転勤となり、顧客向けセミナーやキャンペーン企画を担当、保険や投信商品の導入等にも携わりました。また、人財育成にも注力し、研修企画や講師業務を通して組織全体の底上げに取り組みました。

現在は資産サポート室（FG本部）に所属し、保険・投信の企画業務から営業支援システムの検討等、様々なプロジェクトに携わらせていただいています。学生時代の経験は、今のキャリアの中で「主体的に動き、人を巻き込み、仕組みをつくる力」として確実に生きています。

現役生へのメッセージ

地域に飛び込み挑戦した学生時代の経験は、今のキャリアに確かな力として生きています。大切なのは特別な才能より一歩踏み出す勇気です。失敗しても大丈夫。動けば景色は変わります。地域創生学群という“挑戦できる環境”を最大限に使い、ぜひ自分の未来を切り開いてください。



今年、従業員組合の執行委員に新任された時の1枚☆現在も人前で話すことが多く、地域創生学群で学んだコミュニケーション能力や発信力は非常に役立っています！